

## 2024年度公益社団法人日本栄養士会事業報告

### 【概 要】

2024年度の事業は、2023年度3月理事会で決定した事業計画に基づき、執行した。

本会の重要課題を①誰一人取り残さない実効性のある栄養改善活動の推進、②活動の担い手である管理栄養士・栄養士の会員増対策の強化、③国内外で大規模な自然災害発生時、迅速に栄養・食生活支援活動を行うため、JDA-DATの人材育成・体制整備の推進④東京栄養サミットのコミットメントの実現に向けた国際的活動の展開とし、関係部門ごとに2024年度の活動計画を策定し、取り組んだ。

総務部関連事項では、社会のニーズに対応するために拡充している事業内容の評価、財政のあり方について、引き続き検討を進めた。また、会員増対策として、4つの戦略方針を立て、就業状況と入会率の動向や新入会・退会の傾向等について現状分析を行い、会員増の取組を推進した。

学術研究事業部関連事業では、「日本栄養士会雑誌」の発行に係る企画・編集及び管理栄養士・栄養士の業務規範のとりまとめの方針と論点整理により、倫理綱領も含めた検討を再開した他、引き続き育英資金事業を実施した。

人材育成事業部関連事業では、基幹教育研修事業（基本研修・実務研修）講義のeラーニング講座の充実、各演習のオンライン開講を強化した。さらに、2025年度からの基本研修eラーニングの一新と会員への一部無償化にむけ新しいコンテンツの制作をすすめるとともに、会員が受講しやすい新たな研修管理システムの導入を検討し、生涯教育の充実を一層推進していくこととした。拡充教育事業としては、引き続きオンラインによる研修運営を充実させるとともに、各認定事業を適宜実施した。

情報コミュニケーション事業部関連事業では、国民の食・栄養の課題を解決するために、“栄養の日・栄養週間 2024”を、8月4日「栄養の日」、8月1日から8月7日の「栄養週間」を中心に、「口と栄養のおいしい関係」をテーマに実施した。全国の管理栄養士・栄養士が業務のなかで開催する栄養のイベント「栄養ワンダー」、4年ぶりに会場での集合形式で開催をした「市民公開講座」の実施、さらに特設Webサイトを開設して、テーマの「口と栄養のおいしい関係」について学べるマンガや雑誌のほか、「市民公開講座」のアーカイブ配信を行った。また、世論形成と健康・栄養関連情報をわかりやすく提供することを目的として、ホームページの内容充実や広報活動の推進に努めた。

栄養ケア・ステーション事業部関連事業では、国民の身近な場所での栄養相談・支援等を展開するために、栄養ケア・ステーション認定制度を推進した。今後も、地域住民のための食生活支援活動の拠点としての設置促進、人材育成に注力した。

地域連携事業部関連事業では、諮問会議及び地区栄養士会長会議の開催、同会議での意見を踏まえた会務運営に努めた。

政策・職域推進事業部関連事業では、各職域において基本方針、具体的推進項目を設定して、職域の専門性の向上のために各種活動に取り組んだ。

災害対策事業部関連事業では、令和6年能登半島地震に係る災害支援活動に取り組んだ他、日本栄養士会災害支援チーム(The Japan Dietetic Association・Disaster Assistance Team)に関わる各種の活動を展開した。

## 2025 年度公益社団法人日本栄養士会事業計画

栄養の力は、生命を維持し、こどもたちが健やかに成長し、人びとが健康で幸せな生活を送るために必要です。全ライフステージにおいて栄養に関する様々な課題がある中、管理栄養士・栄養士は栄養と食の専門職として、多様な職域で栄養課題の改善に取り組んでおり、本会では、より質の高い「栄養の指導」を目指して管理栄養士・栄養士の人材育成、活動支援を行っています。

しかし、著しい社会環境の変化や人びとのニーズの多様化等により管理栄養士・栄養士への期待が高まり、担うべき業務もより複雑・困難になりつつある中、資質の向上を図ることが喫緊の課題となっているとともに、さらに管理栄養士・栄養士が行う栄養関連事業の充実強化を図ることが必要となります。

2025 年度は、人生 100 年時代を迎える中で、「誰一人取り残さない持続可能な社会の実現」を目指して、次の重点事項を踏まえ、以下の事業計画を遂行します。

### 重点事項

- 1 本会が、栄養の力で人びとの健康と幸せに貢献するために、栄養の指導の担い手である管理栄養士・栄養士の会員増対策の強化
- 2 「誰一人取り残さない持続可能な社会の実現」に向け、実効性のある栄養改善活動を推進するための管理栄養士・栄養士の更なる生涯教育（卒後研修）の推進
- 3 防災基本計画（令和 6 年 6 月 28 日中央防災会議決定）を踏まえ、災害発生時に、避難所等で生活する被災者への栄養・食生活支援に対応できる管理栄養士・栄養士の更なる育成に向けて、日本栄養士会災害支援チーム（JDA-DAT）の人材育成・体制整備の推進
- 4 日本の栄養改善活動の成果 “Japan Nutrition”（ジャパン・ニュートリション）を、「アジア栄養士フォーラム 2025」、「大阪・関西万博（大阪ヘルスケアパビリオン）」を通して世界に向けて発信・提案するとともに、東京栄養サミットのコミットメントの実現に向けた国際的活動「ラオ日栄養改善プロジェクト」の展開
- 5 令和 8 年度診療報酬の改定において、栄養の重要性が評価され、栄養管理を更に推進するための改定に向けた要望の提案